

厚生連だより

平成23年1月1日
第44号

かみつが

発行

上都賀厚生農業協同組合連合会
上都賀総合病院
老人保健施設かみつが

編集

上都賀総合病院年報等編集委員会
〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033
TEL 0289-64-2161

第4回病院祭 糖尿病フェア



新春のご挨拶

上都賀厚生農業協同組合連合会
代表理事会長 安生 衛



新年を迎えて

上都賀総合病院
病院長 十川 康弘



平成二十三年の新春を迎え心よりお喜び申し上げます。
本会上都賀総合病院並びに老人保健施設かみつがの事業運営にあたりまして、特段のご指導ご支援を賜わりまして厚く感謝申し上げます。
我々厚生連は、健康で安心して暮らせる農山村社会を目指して、日ごろより、保健・医療・介護・福祉事業に取り組んでいます。
今日の、少子高齢・人口減少社会とデフレ経済下において、厚生事業を取り巻く環境は、極めて厳しい状況下にありますが、幸い、昨ん政府の緊急経済対策における地域医療再生基金と医療施設耐震化臨時特例交付金を関係各位のご努力のお陰で支援を受けることとなり、平成二十二年九月二十八日の臨時総会において、永年の懸案だった新病院建設の基本構想が承認され、新時代に向けて一歩を踏み出しました。今後は更にJAGグループとの連携強化の上、農協組合員・地域住民に、地域の公的機関病院・地域の主たる老健施設として、積極的に事業展開を致す所存であります。
今後とも皆様方の尚一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。結びに、本年が皆様におかれまして最良の年でありますよう、ご祈念申し上げ新春のご挨拶と致します。

平成二十三年の新春を迎え、ごあいさつ申し上げます。平成二十二年は四月に国の地域がん診療連携拠点病院に指定され、ますます県西医療圏で必要不可欠の基幹病院になりました。また皆様にご不便をおかけしておりました病院の老朽化問題も外来棟の建て替えが正式に組織決定され三月十四日の着工が待ち遠しいばかりです。同時に電子カルテやがん放射線治療装置、CT、MRなど最新の医療機器も整備いたします。新しい病院で地域社会に貢献し続けるための当院の基本方針は極めて明確です。JA会員、鹿沼市民を含めた診療圏十五万人の方々が増える疾患のうち入院を要する急性期医療とQOLを改善するための回復期医療サービスを最高のレベルとクオリティーで提供し続けることです。
地域に根差した新たな病院構築は、同時に街づくりの一部でもあります。病院医療者、地域医療者、住民利用者、行政が一体となつて地域の医療を守っていかねければなりません。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

病院祭を体験して

第四回病院祭
実行委員長 杉山 竜一



当上都賀総合病院では、去る十二月十三日(土)に第四回病院祭を開催いたしました。病院祭も四回となりますと、定着した感があります。お陰様をもちまして、天候にも恵まれ約六百名の地域の皆様にご来場頂き、盛会のうち無事執り行うことができました。

体験コーナーや相談コーナー、当院の歴史や活動内容を紹介した展示コーナーなど様々なアトラクションで楽しみながら医療の現場を知って頂きました。

このような体験をきっかけに、ひとりでも多くの子供たちが、医師や看護師を目指すための足がかりになればと思います。またメタボリックシンドロームに関する簡易検査に多数の問い合わせを地域の皆様にいただき、病気の予防の関心の高まりを感じました。

病院祭を通じ地域の皆様に当院を身近に感じていただき、何よりも地域に向かって病院が病気になった時だけ行くものではない事を発信できたことは成果だと思います。

これからも県西地区の地域医療の担い手として職員一体となって励んでいく所存であり、今後ともご指導、心からお願い申し上げます。今回、病院祭実行委員長という貴重な体験をさせて頂いた病院関係者の方々及び、協力頂いた職員の方々にお礼申し上げます。



糖尿病フェア

皆さん、ご存知ですか？ 毎年十一月十四日は「世界糖尿病デー」世界中の国々の名所や建造物などが、糖尿病予防と重症化防止の願いを込めてブルーにライトアップされています。

世界中で糖尿病患者さんやそのご家族、医療従事者、一般市民の全ての人々が参加して糖尿病の啓発活動の輪を広げて行こうと、各地で様々なイベントが開催されています。

当院においても病院祭と共催し、第四回糖尿病フェアを開催することができました。

フットプリント・足の計測、血糖測定、パンフレット・食品の展示、友の会紹介コーナーなどがあり、当日は二百二十二名という多くの皆様の参加をいただきました。中には血糖値が高めと言われ気になっていた方、自分に合う靴が無くて困っている方、ご家族が糖尿病と診断され悩んでおられた方など、「今日思い切って、来てみて良かった。」という言葉をいただきました。

これからも糖尿病支援チーム一同、地域の皆様の糖尿病予防と治療のお役に立てるよう取り組んで行きたいと思っております。



AED操作体験コーナー

AEDの存在を知ってもらうとともに、AEDの使用方法、緊急通報の仕方、胸骨圧迫(心臓マッサージ)の方法を体験してもらおうことを目的に実施させていただきました。

体験参加人数は二十五名程度でした。実際に心肺蘇生法を実施したことのある方など、体験や説明を受けたことがある方が、手技の確認や取扱い方法についての振り返りのために立ち寄り、例年よりもAEDや心肺蘇生法について興味をもち、手技を維持するために高い意識で参加してくださる方が多く驚きました。心疾患が原因でお亡くなりになる方は、年々増加しています。尊い命を救うためには、早めの病院受診と、もしもの時には病院に来る前から胸骨圧迫を行い、AEDによる電気ショックを行い救命率を上げていきたいと思います！！



体験コーナー

病院祭の体験コーナーの一つとして、メタボリックシンドロームに関する簡易検査(メタボ検査)身体測定・血圧測定・動脈硬化検査(頸動脈エコー・血圧脈波検査)・腹囲エコー(脂肪肝のみ)及び脳元気度チェックを行いました。

メタボ検査の一つ、血圧脈波検査を行う際、血管の硬さはどの程度なのかイメージしてもらうために、血管模型を利用しました。検査結果をもとに、この数値がどの程度の血管の硬さなのか、実際に触れることで自分の血管の硬さをイメージしてもらうことができました。メタボ検査は、普段なかなか自分の健康を客観的にチェックする機会が少ない地域の皆さんにとっても良い機会になったと感じました。

脳元気度チェックは、今回初の試みでしたが、メタボ検査と同様に行ったこともあり、多くの地域の皆さんに体験して頂きました。脳がどの程度元気なのか数値で結果が表示されます。実際に検査を行った方から、画面にタッチする検査であるため、半数以上の被験者の方が操作は、やさしかったという回答があり、被験者全員がまたこの検査を受けたいとの回答が得られました。

物忘れや認知症のことなどの脳に関することは、心配に思う反面、どうしたらよいのか分からない部分でもあると思うので、今回良い体験になったのではと感じました。

この体験コーナーで行った検査は、大盛況に終えたと思いま

す。その分、地域の皆さんが、自分の体の健康に興味を示していると感じました。この体験をきっかけに、自動車にも定期的な車検があるように、自分の体にも健診をする習慣を身に付けてほしいと思います。



高齢者疑似体験コーナー

高齢者疑似体験用具「未来ちゃん」を使用し、高齢者の身体的な変化を体験していただきました。

手足の重りやヘッドホン等を装着し、歩行や日常生活の動作を行っていただきました。小学生から大人の方まで参加し、多くの方から「思ったよりも動きにくい」との感想が聞かれました。加齢による身体的な変化を体験した中で、高齢者を理解する一助になっていただければと感じました。



